

The Alumnae News of ND Seishin School



特集1 空き家になったお聖堂^{みどう}のこと、知ってほしい。

特集2 東京修道院 保存活動に多くの同窓生も参加

特集3 コロナ禍の在校生の1年間

同窓会会長挨拶

同窓会会長
岩崎恵子

同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。お元気でいらっしゃいますか。この1年間は、新型コロナウイルス感染症予防に明け暮れた日々でした。中には感染・発病され今も苦しんでいる方も多いと思います。心からのお見舞いを申し上げます。また、日夜医療の場で献身されている方々には心からの感謝を捧げます。

社会全般に自粛が行き届き、ほとんどの行事などが延期または中止となりました。清心同窓会も例外ではなく5月の学園祭バザー、関東・関西支部会、夏の同窓会総会が中止となりました。準備して下さっていた方、楽しみにしていらした方には大変申し訳なくお詫び申し上げます。

そんななかで会報が無事発行されたのは、担当の方々、関わって下さった方々の知恵と努力の賜物と大変嬉しく感謝に堪えません。紙面を今年から横書きに変え字体や大きさを変え、少しでも読みやすく工夫されています。感想などお伝えくだされば幸いです。

先生方、職員の方も、学校・生徒を守るための努力、工夫、献身は大変だったと感じております。今も続いています。感謝申し上げ、エールを送りたいと思います。

2021年3月1日、66期生の入会式を開催し、176名を迎えました。これからの日々に多くの平安と喜びがありますように祈ります。

同窓会は同窓生のために、母校の発展と後輩の支援、社会と地域への貢献を柱に活動しています。ますますのご理解とご協力をお願いします。

コロナ禍を機に変わってゆくことも多いことでしょう。以前のような生活には戻れないかもしれませんが、違った観点や気付きから、新しい生活が広がっていくように思います。清心で培った勇気と知恵と愛を持って進みましょう。

同窓会名誉会長挨拶

ノートルダム清心中・高等学校学校長
神垣しおり

2021年の恵みを祈って…



同窓生の皆様、国内外とも大変困難な状況が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々の永遠の安息とともに、罹患された方々、日夜献身されている皆様方のことをお祈り申し上げます。

学校は断続的な3ヶ月間休校、オンライン配信などを経て再開したものの、日常も学校行事も一変しました。

「新しい生活様式」のもと、感染症対策と同時に、さまざまな試行錯誤を続けております。学園祭をはじめ、学校行事の多くが中止や変更といった苦渋の決断を迫られ、生徒・教職員一同、この現実と向き合うなか、皆様の励まし、ご支援、お祈りをいただきましたことを厚くお礼申し上げます。

教育のあり方を問い直されることも多々あるなかで、今も「心を清くし 愛の人であれ」という本校の建学精神は私たちを鼓舞してくれます。

鳥のさえずりも四季折々の景色も変わらず美しい己斐の丘で、日常の恵みに改めて気づかされ、新たな発想や情報技術により何かが生み出される日々でもあります。先行き不透明ですが、感謝の心で最善を尽くしてまいりますので、今後も母校のためにお祈りください。同窓会のますますのご発展と皆様のご健勝を心からお祈りいたします。

2020年度 執行部役員			
会 長	13期	岩 崎 恵 子 (内藤)	
副 会 長	22期	辻 井 美 紀 子 (住広)	
副 会 長	26期	水 内 映 子 (伊東)	
会 計	13期	閑 田 順 子 (藤岡)	
会 計	35期	高 橋 庸 (井上)	
書 記	30期	伊 藤 康 子 (宮岡)	
書 記	38期	菅 尾 麻 里 (菅尾)	
書 記	45期	平 野 絢 子 (平福)	
会 計 監 査	5期	山 下 喜 久 子 (吉田)	
会 計 監 査	9期	築 澤 澄 子 (河野)	

関東支部長	37期	真 壁 直 子 (北村)	
関西支部長	14期	居 藤 信 枝 (大越)	

事 務	42期	岡 之 下 美 穂 子 (中原)	
-----	-----	------------------	--

表紙のことば 28期 望月恵(石原)

私が「なでしこの会」に出展させていただくようになったのは6年ほど前からです。

趣味で描いている日本画を発表できる場があるというのは、とてもありがたいことだと感謝しております。

今回の表紙の百合の絵は、和紙の上に絹を貼って描きました。花びらの柔らかさやつぼみの膨らみなどの質感を出すのに苦労しました。

今後も頑張って絵を描き続けたいと思っています。

個人情報の取り扱いについて

登録されている個人情報は、同窓会からの案内・会報発送や名簿作成に利用しますが、本人の同意があるときおよび会長が必要と認めたとき以外は開示しません。

ただし、各期委員からの同期会開催を目的とした住所シール、名簿の発行要請は従来どおり受け付けます。

第65回 同窓会総会

日時▶2020年9月26日 場所▶ノートルダムホール大講義室

第65回同窓会総会は当初8月2日(日)にANAクラウンプラザホテル広島で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となり、2020年9月26日(土)、2020年度第1回同窓会委員総会に併せて開催されました。

同窓会総会は、岩崎会長のご挨拶から始まり、続いて神垣校長からご挨拶をいただきました。

神垣校長からは「先日オープンスクールを無事行うことができ、予定していたことを予定通り行える幸せを感じています。今年は戦後75年、本校創立70周年の節目の年ですが、コロナ禍を経験し、改めて、本校創立当初に先達の方々はどうなにご苦労されたことかと思いをはせました。学校が再開してまだ数ヶ月、卒業生も、お世話になっている同窓生もまだ来校をご遠慮いただいている状況です。授業では調理実習が実施できず、学園祭も中止となりました。生徒には大根坂を登下校する際も会話をするならマスクを着けてもらい、昼食も会話せず前を向いて静かに食べるように指導しています。2学期からは対面授業とオンライン授業、それぞれよいところを活かせるよう工夫し、行事もできるだけ実施していきたいと思っております。」とのご挨拶がありました。

次に永年勤続の先生の表彰が行われ、10年表彰のSr.中村彩子のご挨拶がありました。

その後2019年度事業報告、決算及び監査報告を行い、2020年度の予算が承認され、閉会となりました。



おめでとうございます

永年勤続表彰

Sr.中村彩子

10年(宗教・家庭)



このたびは同窓会より永年勤続10年の表彰をいただき、心より御礼申し上げます。ひとえに同窓生の皆様をはじめとする多くの方々の支えがあってこそ感謝の気持ちでいっぱいです。

この10年をふり返ると、卒業生の教員として、また創立者マザージュリーの精神を受け継ぐ修道会の会員として、目の前にいる生徒たちに何を伝え、ともに取り組んでいくかを問い続けた日々であったように思います。正解がなく、自ら考え、選択していく力が求められる社会にいずれ旅立つ生徒たちが、創立者がいつも大切にされた弱い立場の人にも配慮する「愛の人」として成長できるよう、これからも微力ながら努めて参りたいと考えております。

皆様のご多幸、同窓会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。



お元気ですか

『清心から頂いた財産』

秋本景子 先生 (英語講師)



同窓生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

私は2018年3月に定年退職し、引き続き非常勤講師として清心で教えております。どんどん増える校内の新設備や新制服姿の生徒が教えてくれる若者の情報など、学校の様子も随分変わった面が確かにあります。一方で、変わらず脈々と受け継がれているものに触れ、感動することもよくあります。その一つは、真面目さ、知的好奇心の高さ、心根の優しさ、時に見せる勝気さ、という清心生の素晴らしさです。

それは、しっかりとした教育理念を土台に、これまでの諸先輩方が築いてこられた歴史、伝統があるからこそだと、改めて実感しています。

幸運なことに、私は人生の2/3以上を清心で過ごし、清心は私の人生そのものです。幸せなときも大変で苦しいときも、どんなときも支え力になってくれたのが、清心でした。今こうして私が幸せで充実した人生を送ることができるのは、清心のおかげであると心から感謝しております。

同窓会の皆様、どうぞこの清心で学び身につけられた財産を誇りと力にして、今後ますますご活躍なさってください。

またお会いできる日を楽しみにしております。皆様どうぞ、お元気で…。

関東支部だより

40期 身深布沙子

2020年度の関東支部同窓会はコロナ禍のため、開催することができませんでした。

関東支部同窓会は例年6月末に開催しております。案内状の作成、当日の進行など同窓会開催にむけて準備を開始した頃に、関東でコロナウイルスが蔓延しはじめました。直接会って打合せができないなかでも、各担当者でできる範囲の準備を行っていました。

ただ、無事開催できるのか、開催してもいいのだろうかと不安も大きく、延期と決定したときは残念な気持ちもありましたが、安堵の気持ちも大きかったです。

この原稿を書かせてもらっている今も日々感染者が増えております。2021年度も同窓会が開催できる状況にあるかは分かりませんが、1日でも早く安心して皆様にお会いできる世の中になることを願っております。無事同窓会が開催できた際には、皆様の笑顔にお会いできたらと思います。

〈関東支部連絡先〉
 関東支部長 37期 真壁直子 (北村)

関東支部ブログ <https://ndkanto.blog.fc2.com/>



関西支部だより

38期 前田房子 (叶谷)

2020年は大変な年となり、ちまたで多くの行事が取りやめとなるなかで同窓会も中止となりました。

2年前の秋、卒業以来、初めて出席した同窓会で、翌々年に幹事が回ってくること、そして、同期の誰一人近年同窓会に来ていないことを知りました。ひょっこり同窓会に出てみようなんて思いが湧いてきてしまった必然を感じたものでした。

関西に住み始めて四半世紀経ちますが、お互いの出身地を話すうちに偶然にも清心の同窓生だったということが何度かありました。偶然という状況がより印象を強くするのかもしれませんが、やはり出会った方々が、置かれた場所で咲いておられるその輝きを感じ、その方々と過去に同じ場所で過ごしたということはとてもうれしいものでした。

今回の同窓会では、皆様と再会し、絆を感じあえる機会にできればと思っております。

〈関西支部連絡先〉
 関西支部長 14期 居藤信枝 (大越)

学園関係物故者慰霊祭ミサについて

本年も10月30日にノートルダムホールにて学園関係物故者慰霊祭ミサが行われる予定です。同窓会本部にご連絡いただいた同窓生の物故者の慰霊も一緒にさせていただいております。

クリスマスミサのご案内

毎年12月24日16時より、学校でクリスマスミサを行っています。ミサ後は茶話会も開かれます。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。

2020年はコロナ禍のため同窓生の皆様にご参加いただくことができませんでしたが、2021年はご一緒に主のご降誕をお祝いできますように、と願っております。

同窓生の活動

ユリア会

例年、春分の日前後にカトリック信者同窓生の集い「ユリア会」を行っております。どうぞお気軽にお越しください。

〈連絡先〉 Sr.中村彩子 お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724

なでしこ医会

同窓医師の会で、会員数は現在約160名です。学園祭での無料骨密度測定、在校生の健康診断、医学に関連した講演などの活動をしています。

年に1度の総会では、合わせて講演会やミニコンサートなども開催し、その後の懇親会では近況報告など、話の花が咲きます。

2020年は、総会も中止、例年6月に実施される学校健診も、9月に密を避けながらの実施となりました。

会員募集中です。同窓医師の皆様、入会をお待ちしています。

〈連絡先〉 なでしこ医会事務局

E-mail nadeshiko_ikai@kde.biglobe.ne.jp



2019年学園祭での骨密度測定の様子

コーラス

私たちは月2〜3回金曜日の午前中に練習しています。あるときは昔懐かしい曲や、今流行っている曲を歌い、またあるときは若い作曲家が作ったリズムの難しい曲に挑戦しています。コロナ禍のため、以前のような活動は行えていませんが、本来であれば練習後のおしゃべり、食事会、レクも楽しいですよ。歌の好きな方は一緒に歌いませんか。

〈連絡先〉 9期 石橋秀子(井上) お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724

なでしこの会

いつも応援ありがとうございます。

「持続は力」で36回続いたなでしこの会展も2021年は、コロナ禍で中止となりました。中止が決まってたくさんの方に気づきました。みんなに会いたい、絵を描きたい、なでしこを通して清心と繋がっている安心感、応援して下さる皆さんとの絆…深く感じました。

外出自粛中のメンバーの作品「アマビエ」です。コロナが去って、また展覧会で皆さんとお会いする日を楽しみにしています。

これからもよろしくお願いします。

〈連絡先〉 23期 渡辺紀久子(鎌田) お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



英語を楽しむ会

11期の三浦智世子さんを講師に第1・第3水曜の13時30分から10人前後が集まっています。場所は皆実町健康センターまたは東千田町のCLIPです。

2020年は3月から6月まで新型コロナウイルスの流行でお休みしました。7月から3密を避け換気や消毒に注意して再開。世界の食にまつわる歴史を読んだり、What's new? で近況を話し合ったりしています。

集うことの困難な状況が続いていますが、こんなときだからこそ語り合うことが支えになり、癒されることを実感します。どうぞお気軽にご参加ください。

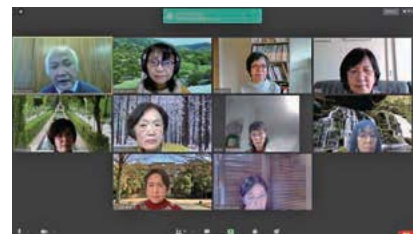
〈連絡先〉 12期 小辻たか子(吉沢) お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



ミスター・タクラの英会話

只今、リモートレッスンをしています。2020年3月、コロナ禍により同窓会室が使用禁止となり活動休止になりました。コロナがいつ収束するとも知れず、リモートレッスンをお願いしたところ、タクラ先生の快諾のもと校長先生がご許可くださいました。おかげさまで2020年9月よりリモートで再開することができました。感謝申し上げます。オールイングリッシュで2時間、3期〜23期の約10名が先生の出されるお題に沿って和気あいあいとディスカッションしています。ヒアリング力とスピーキング力がつくのはタクラ先生のネイティブレッスンならではのです。今は第2・第4火曜の14時30分〜16時30分に行っています。お気軽にお問合わせください。

〈連絡先〉 21期 坂尾美奈子(上田) お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



特集 1

なでしこ建築会

空き家になったお^{みどろ}聖堂のこと、知ってほしい。

～お聖堂について考える活動をしています！～



ノートルダム清心中・高等学校の敷地内にある清心の修道院およびそのお聖堂は、2018年8月にシスター方が引っ越されて空き家になり、どうかしなければならぬという話が出ていました。

この建物は、ナムユール・ノートルダム修道女会が1955年に建築したもので、戦後すぐの建築物であり、教会らしい伝統的なスタイルとモダニズムを併せ持つ外観や、手作りの温かみがある細部など、見所の多い建物で貴重なものです。

そこで、お聖堂および修道院を考えていくために、建築に関わっている清心の卒業生有志で「なでしこ建築会」を結成しました。まずは建物の魅力を知ってもらいたいという思いから、見学会やシンポジウムを行い、建物を紹介する冊子も作成しました。



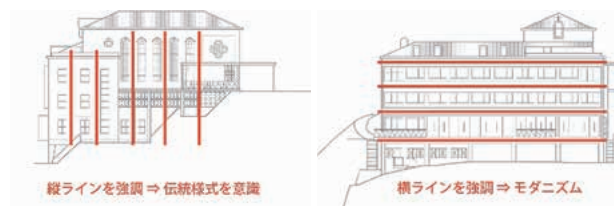
建築としてのみどころ

①アイストップとなる立地

お聖堂・修道院は丘陵地の頂部を造成した校地の最も市街地側にあり、崖上に位置しているため、遠方からもよく見え、その赤屋根は「あれが清心」とわかる目印・アイコンにもなっています。また、門から校内に向かう坂の延長線上にあり、学校の第一印象を決めています。

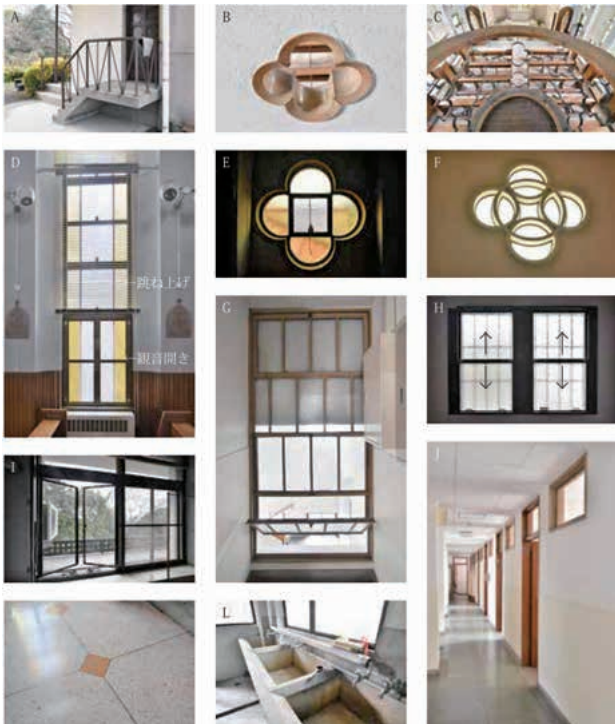
②二つのデザインが共存する外観

外観は、方向でデザインが違います。北側（道路側）から見ると2階建てで縦長の窓など縦のラインを強調し、ヨーロッパ的な印象があります。一方、南側は、崖下から見上げると4階建ての大きなボリュームに大きな横長の窓が付き、横のラインが強調されており、モダニズムと呼ばれるスタイルです。



③あたたかみのあるディテール（細部）

お聖堂・修道院が建てられた1950年代は、まだ建物の細部の多くが職人の手作業で作られており、ユニークな形の窓枠などからは手のぬくもりを感じさせます。また、ノートルダム清心中・高等学校の出自・アイデンティティにも関連する、積み重ねられてきた歴史やじっくりと見たくなる魅力にあふれています。



A：外部階段の手摺 B：木彫りの窓 C：聖堂合唱席の手摺
D：聖堂の窓は跳上げ式と観音開き E：色付きガラス F：聖堂内陣の飾り窓 G：修道院廊下の窓 H：修道院居間の窓は上げ下げ式が2つ並ぶ I：修道院の窓 J：修道院内部のドアは木製が多い K：聖堂の床は研出し仕上げ L：修道院洗濯室のシンクも研出し仕上げ

見学会・シンポジウム

この建物の魅力を知っていただくため卒業生の皆様を中心に、お誘いし、見学会、ワークショップ、シンポジウムを2019年8月4日に行いました。

見学会には45名のご参加があり、解説付きでお聖堂と修道院を見学した後、建物で気になった場所や想いを各自シートに準備していた写真を貼り、記入してもらいワークショップを行いました。



シンポジウムでは、基調講演として22期で広島平和記念資料館にお勤めの菊楽忍（雨野）さんに清心校舎群の歴史についてお話いただき、続くトークセッションでは、菊楽さんのほか、広島大学の角倉英明先生、アーキウオーク広島の高田真さんにお話しいただきました。ご参加いただいた卒業生の皆様からも、建物への思いや思い出をご発言いただきました。



22期 菊楽忍（雨野）さん

紹介冊子

建物の詳しい話のほか、見学会やシンポジウムの内容を収録した紹介冊子（A5版28ページ）を作りました。ご希望の方は、①住所②氏名③連絡先をご記入の上、nadeshiko_kenchiku@yahoo.co.jpまでメールをいただきましたら、資金が続く限り無償で冊子を郵送させていただきます。また、冊子の増刷や今後の検討など、お聖堂について考える活動にあてる資金についてご寄付もいただくと、大変助かります。



※配布する冊子は先着順限定数十部ですのでご了承ください。

これからの活動

今後は、知っていただく活動を継続しつつ、お聖堂および修道院をどのように活用していくかなどについて、ナミュール・ノートルダム修道女会様への提案を作成したいと考えています。皆様のご意見もぜひお寄せください。

文責：なでしこ建築会 福馬晶子（36期）
E-mail nadeshiko_kenchiku@yahoo.co.jp

旧聖堂は普段は公開されていません。建物見学について学校側へのお問い合わせはご遠慮ください。

特集 2

東京修道院 保存活動に多くの同窓生も参加

2020年3月、同窓会事務局に1通のお手紙が届きました。送り主は10期の福島洋子さんと田中治子さん。東京都吉祥寺にあるナミュール・ノートルダム修道女会東京修道院を保存するための署名活動にたくさんの同窓生が協力して、武蔵野市の取得・保存に繋がったというものでした。過去には関東支部の同窓会が行われていた懐かしい場所、思い入れのある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

同修道院は旧赤星邸とも呼ばれ、アントニン・レーモンドが設計し、1934年に建てられた貴重な建造物。1956年からナミュール・ノートルダム修道女会が修道院として使用してきました。今後は国の有形文化財への登録を目指すとのことです。むさしのFM第963回（2020年8月21日放送分）ではSr.渡辺愛子が修道院についてお話されています。インターネットに過去の放送分が公開されていますので、ぜひお聴きください。



修道院の外観



修道院の内部



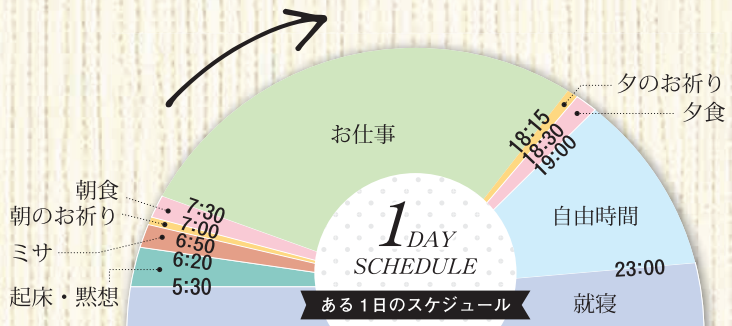
関東支部同窓会の様子（1986年6月8日）

コラム

修道院の1日

シスターは修道院でどんな1日を過ごされているのでしょうか。約3年半前まで広島修道院で暮らされていたSr.中村彩子に修道院での1日をお伺いしました。

みんなでのお祈りは朝と夕の2回。それとは別に、朝のミサや個人で黙想の時間もあります。ノートルダム清心の母体であるナミュール・ノートルダム修道女会は教育を使命としていることから、多くのシスターが幼稚園や小学校、中・高等学校で教育のお仕事に携わられています。



同期会 だより

20期

開催日 ▶ 2019年10月26日 場 所 ▶ レンタルスペースOZU1336
寄稿者 ▶ 中島孝子(竹内)、森澤知与子(森田)、光田明美(福田)



2019年10月26日(土)、マツダスタジアムのある大州の町で、20期は『未だかつてないほどにカジュアルな、そしてちょっとレトロな同期会』を開催いたしました。

会場となった『OZU1336』は、キッチン、ピアノ付きのスタジオのような照明やスクリーンのある居心地のよい空間で、RCC情報番組『ひな壇団』のテレビ収録に使われ、毎週水曜日には野菜市、時々ミニライブも開かれています。

当日の朝、カーブTシャツ姿の幹事たちは近隣のスーパー コストコで料理を調達し、テーブルセッティングを済ませ、正午には20名の参加者が揃いました。

まず、セピア色の卒業アルバムの写真を大スクリーンに写し出し、BGMに

ユーミンの曲を流したところ、45年以上前の教室やクラブ活動の様子が瞬間に甦りました。ビンゴゲームの景品を手に取り、近況を語る同級生たちは、あの頃のように輝いて見えました。途中で、ジャズピアノと篠笛によるデュオ、琴の演奏、フラダンス、和装帯の花結びのパフォーマンスで盛り上がりました。また、手作りの傘や小物、野菜など、沢山のお土産にも感激でした。最後は、校歌を歌い、みんなで片付けをして解散となりました。

その1ヶ月余り後、中国で新型コロナウイルスが発生し、年明けには、日本でも感染拡大が留まることなく、同窓会活動もバザーも中止を余儀なくされました。

61期

開催日 ▶ 2020年2月23日 場 所 ▶ ホテルセンチュリー21広島
寄稿者 ▶ 宮迫希帆



2020年2月23日(日)、広島駅前のホテルセンチュリー21にて同期会を開催いたしました。

卒業から4年が経過し、それぞれの道を歩んでいる61期のみんなが2年ぶりに一同に会し、成長を実感しつつ、懐かしい思いに浸りました。

近況を話す機会を設け、学業の話や就職の話をしていると、改めて時の流れを感じさせられました。たった4年前まで毎日みんなで過ごしていたのが、いかにかけがえのない時間であったかを再認識すると同時に、これから年を重ねたとしても、清心での日々は色あせないものであると安心する会でもありました。

憂鬱な出来事が多い世の中ではありますが、全国全世界で活躍する同級生たちを思えば、少しばかり明るい気持ちになれるものです。また盛大に同期

会を開催できる時がきましたら、みんなで笑顔で集いましょう。その際は、学年団の先生方にも61期の成長した姿をお見せできたらと思います。

62期

開催日 ▶ 2019年1月13日 場 所 ▶ ホテルグランヴィア広島
寄稿者 ▶ 尾野萌



2019年1月13日(日)、初めての62期の同期会をホテルグランヴィア広島にて開催いたしました。翌日に成人式を控えている人が多かったと思いますが、非常に多くの62期生で会場は賑わいました。会場には三好健之先生が来てくださり、乾杯の挨拶で温かいお言葉をいただきました。その後、乾杯の掛け声とともに一斉に会場は元気で明るい62期の雰囲気ですばいになりました。卒業して以来、久しぶりに会う人も多く、お互いの近況について伝え合い、話に花が咲きました。そんな楽しい時間はあっという間に過ぎ、別れ際はつらく名残惜しい思いをしました。それと同時に、こんなに気の許せる大切な仲間に出会えたことに感謝の気持ちですばいになりました。2021年になりましたが、現在でも新型コロナウイルスの影響で人と人が集う機会が多く失われています。このように同期会を開催することは難しい状況になっています。このように同期会を開催することは難しい状況になっています。

この困難をみんなで乗り越え、またいつかそれぞれが成長した姿で、楽しく語り合える日が来ることを願っています。

同期会 開きました

63期

2020年1月12日(日)
リーガロイヤルホテル広島

同期会を開催された、もしくはこれから開催される場合は、同窓会事務局までご連絡ください。

〈同窓会事務局〉 TEL 082-271-1724 (月～金 10時30分～13時30分 不定休) E-mail dousoukai@hiro-seishin.ed.jp

特集3

コロナ禍の在校生の1年間



2020年度は2019年度末の3月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、あらゆることが変更になり、不自由・制約のある学校生活の連続となっています。生徒たちも忍耐しながらも創意工夫を行って案を出し合い、何度となく考えてはまた変更、という連続ですが、なでしこのようにたくましい清心生です。今回、代表として委員会からのコメントを紹介します。日常生活を垣間見ていただければ幸いです。60期・70期代の若き清心生への応援を今後ともよろしくお願いいたします。

高校審議会

2020年度は新型コロナウイルスの影響で、学園祭や体育祭、遠足など、予定されていたさまざまな行事が中止となってしまいました。そのほかにも昼食時には静かに前を向いて食べる、友達同士も必要以上にくっつかない…といったルールも新たに加わりました。

新しい生活を窮屈と思ったこともありましたが、よい変化もたくさんあったと感じます。オンラインでの授業や行事を体験できたこと、委員会の主導で昼休憩に流れる明るい音楽・ラジオ、そして何より、友達との登下校や他愛ない会話といった「変わらなかった」ものを今以上に大切に、愛おしく思えるようになりました。

全国では感染が拡大していますが、これからも清心でみんなと学校生活が送れるよう、気を引き締めて感染対策に取り組んでいきたいと思えます。



高校選挙管理委員会

私たち選挙管理委員会は、模擬選挙や主権者教育などの活動を行ってきました。模擬選挙は、感染症への対策を取り入れた公約の立案や政見放送の動画作製など、生徒の皆さんに選挙について興味を持っていただくために、新たなことに挑戦しました。また、主権者教育では、様々な世代や立場に立って政治について考える取組みを行いました。一主権者として政治に関心をもたなければならぬと強く思いました。



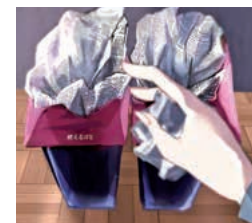
立候補者映像



高校美化委員会

2020年度の委員会活動は、どのようなコロナ対策をほどこしてゴミ箱を設置するかを議論したことが印象に残っています。

当初はゴミ箱を設置しない方向でしたが、対策を考えてクラスの意見を聞き設置することになりました。これからも過ごしやすい環境づくりをめざしていきたいと思えます。



ゴミ箱
(高II生徒作イラスト)



中学清友会

中学清友会では、例年体育館に集まって行う縦割り活動を放送で行うことにしました。また、黙ってお昼ご飯を食べなければならない昼休憩を楽しむため、「校内ラジオ放送」を毎週金曜日に行い、コロナ禍においてできる限り工夫をしています。生徒の皆さんから募集したお便りを紹介するコーナーもあります。活動方法が限られているなかでも、こうして新しい活動の幅を拡げることが、これからも大事にしたいです。



校内放送イメージ
(高II生徒作イラスト)



学校行事の紹介



リモート終業式



中1文化学習(華道)



ハワイとのオンライン交流

2020年度 学園慰霊式

2020年10月31日(土)、毎年行っている学園関係者故者のための学園慰霊式として、白浜司教様に司式をお願いし、講堂で行った慰霊式を教室にライブ配信するという初の試みにて祈りの行事を執り行いました。慰霊式の前に、各クラスで絵本「いのちの時間」の朗読映像を視聴し、全学年で折り紙の花を折りました。折った花は慰霊式で献花として捧げました。

ご遺族の方々をお招きすることができなかったの、後日、ご遺族の方々に思いを馳せながら生徒たちが折った花をそえて式の様子をご報告しました。これには、ご丁寧にたくさんのお返事をいただきました。悲しみのなかに清心ならではのこうしたつながり、支え合いを大切にしたいと思っています。



2020年度 クリスマス行事

2020年12月17日(木)、例年はミサ、ESSの歌、タブロー、ハレルヤを生舞台にて全校生徒が一同に味わうところ、2020年度は高Ⅲのみが講堂に参列し、あとの学年は教室配信という形で開催されました。各学年、クリスマスに向け、校内飾りつけ・リース作成・クリスマスカードの送付など様々な事前準備を行いました。当日は、祈りの集いのあと、事前に撮影したクリスマスタブローとハレルヤコーラスを視聴しました。毎年高Ⅲが歌い継いできたハレルヤコーラスも、パートに分かれて録画しました。学年全体で歌うことはできませんでしたが、学校生活を振り返りながら、心を込めて歌いました。いろいろな制約があるなかで工夫しながら、離れていても全校生徒クリスマスの喜びを分かち合うことができたと思います。



2020年度 在学生会大会報告

- 【中高クラシックギター部】「第43回広島県中学高等学校ギターマンドリンフェスティバル」優秀賞
- 【高校古典文学研究部】「第23回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会広島県予選」優勝
- 【高校囲碁部】「第44回全国高等学校囲碁選手権大会広島県大会 女子個人の部」優勝・第3位
- 【高校放送部】「第61回広島県高校放送コンテスト アナウンス部門」最優秀賞・優秀賞
「第44回全国高等学校総合文化祭(2020 こうち総文)朗読部門」文化連盟賞
- 【高校水泳部】「令和2年度広島県高等学校総合体育大会代替大会兼広島県高等学校選手権水泳競技大会 女子400m自由形」第5位
「令和2年度広島県高等学校新人水泳競技大会(競泳の部)女子総合」第5位
- 【中学水泳部】「第68回広島市中学校総合体育大会 女子200mリレー」第5位
- 【中学陸上部】「第66回全日本中学生通信陸上競技大会広島県大会 女子共通200m」第5位
- 【中学剣道部】「令和2年度広島市中学校新人剣道大会 女子団体戦」第3位
- 【国語科】「第26回小諸・藤村文学賞 高校生の部」最優秀賞・佳作賞
「第21回原阿佐緒賞」奨励賞
- 【英語科】「第17回広島県高校生英語スピーチ・レシテーションコンテスト レシテーション部門高校2・3年生の部」優良賞・敢闘賞
「第57回広島県高等学校英作コンテスト」優良賞
- 【美術科】「第1回SDGs全国子どもポスターコンクール テーマ賞」第1位
- 【理科】「第64回全国学芸サイエンスコンクール 高校」入選
「第64回広島県科学賞」高校 準特選・入選
中学 教育長賞・優秀賞・優良賞



「にのみやちゃんと仲間たち」(生徒考案キャラクター)

なでしこ通信

48期 礒田あい(若林)

私は大学卒業後12年間通信会社へ勤務しました。その後、夫の海外駐在を機に退職、娘とともにバンコクへ帯同しました。新生活では想像していた以上に感じるアイデンティティの喪失に戸惑いましたが、「置かれた場所で咲きなさい」を支えに今できることに取り組もうと思うようになりました。

そんな中、タイはロックダウンとなり、はじめたのが「オンライン平和学習」です。私には被爆証言を行う89歳の祖母がいますが、コロナ以降の活動は白紙に。そんな状況に東京・兵庫・広島・ホーチミン・バンコクの小中学生へ声をかけ、証言を聞いていただきました。急きょ休校となり、日常が当たり前でないと実感していた彼らは、より一層平和への想いを抱いてくれました。また、89歳にしてオンライン初挑戦した祖母をみて、いくつになってもチャレンジできると私自身も励まされました。ありがたいことに、この活動はテレビでも取り上げていただきました。これからの微力ながら私にできることに取り組んでいければと思っています。



同窓生の皆様へ

同窓会総会のご案内

ノートルダム清心中・高等学校同窓会
会長 岩崎恵子

新緑の候、同窓生の皆様には、各方面にてますますご活躍のことと存じます。さて、2021年度同窓会総会を下記のとおり開催いたします。諸般の事情に鑑み、例年より規模を縮小しての開催となりますが、懐かしい先生方、同級生と久しぶりにお顔を合わせて、楽しいひとときをお過ごしください。ご友人同士、お誘い合わせの上、ご参加をお待ちしております。

記

日時：2021年8月1日(日) 13時～15時
場所：ANAクラウンプラザホテル広島
(旧全日空ホテル)
広島市中区中町7-20 Tel 082-241-1111
会費：無料

総会次第

◎第1部 総会
(例年行われていた第2部、第3部はありません)

出席される場合は、同封のハガキまたは出席者フォームにてお知らせください。出席者フォームへは下のQRコードからアクセスできます。

準備の都合上、出席のお知らせは6月25日(金)までにご連絡ください。なお、諸状況により出席者多数の場合は人数制限をさせていただく場合がございます。ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症の状況によって予定変更の可能性があります。その場合、同窓会ホームページにてお知らせいたしますので、ご確認いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

今年度総会の幹事は、43期、53期です。

出席者フォームはこちら

〈連絡先〉同窓会事務局

Tel 082-271-1724

(月～金 10時30分～13時30分 不定休)

E-mail dousoukai@hiro-seishin.ed.jp



- ◆同窓会へのご質問・ご連絡はこちらまで E-mail dousoukai@hiro-seishin.ed.jp
- ◆執行部役員を募集しています。ご連絡ください。
- ◆新型コロナウイルス感染症の状況によって予定変更の可能性があります。ご確認いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

ノートルダム清心中・高等学校ホームページ
<http://www.hiro-seishin.ed.jp>



ノートルダム清心中・高等学校同窓会ホームページ
<https://www.seishin-dosokai.com>



第55号 会報誌
電子版はこちらから



<https://www.seishin-dosokai.com/kaihou/>

編集委員

45期

佐々木朱里(萩原)、平野絢子(平福)
房原綾、藤井佳奈(宮田)

47期

久保有子(南崎)、瀬野あゆみ(橋本)

48期

岩佐敦子(藤本)、升田夏希(濱田)
宮下真帆(土生)

編集後記

長引くコロナ禍により、同窓会総会をはじめ、同窓会関連行事はほとんどが中止となり、苦勞の絶えない一年となりましたが、関係者の皆様には原稿の作成に快く応じていただき、大変感謝いたします。また、今回は、コロナ禍で激変した学校生活の様子をリアルな目線でご伝えていただくため、在学生の皆様にも記事の作成をお願いしました。忙しい学校生活の合間に原稿を作成していただけたこと、心より感謝申し上げます。

今回より全体の構成や体裁を一新しました。文字もできるだけ大きく読みやすいフォントに変え、これからは多くの同窓生の皆様に読んでいただけるよう編集委員一同で取り組んで参りました。ご意見ご感想がありましたら、お聞かせいただけると幸いです。

最後までご覧いただきありがとうございました。

(編集委員一同)